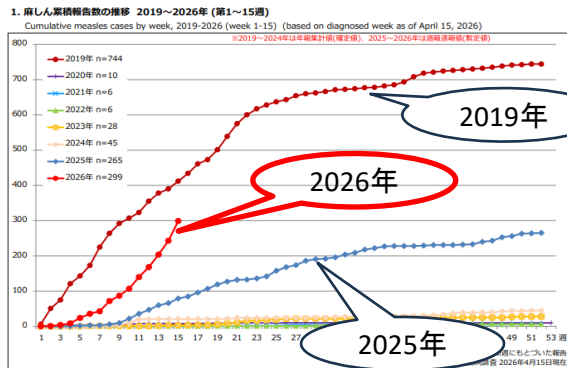


はしか（麻しん）が海外で拡大しており、国内で感染報告が増えています

- はしか（麻しん）とは
麻しんウイルスによって引き起こされる感染力の強い急性の全身感染症



[meas26-15](https://id-info.jihs.go.jp/surveillance/idwr/diseases/measles/graph/2026/meas26-15.pdf)

➤ 症状

感染すると約10日後に風邪のような症状（発熱や咳、鼻水、目の充血）が出現し2～3日熱が続いた後、39度以上の高熱と発疹が出現する



➤ うつり方

- 空気感染…空気中に漂うウイルスを吸い込む
- 飛沫感染…しぶきを吸い込む
- 接触感染…ウイルスがいる環境に触れる



➤ 予防のポイント

麻しん含有ワクチンの接種

2回接種することが重要

1回で約93～95%、2回で97～99%の予防効果がある

- 発症を防ぐ（発症予防）
- 合併症リスクを下げる（重症化予防）
- 周囲へ感染を広げるリスクを下げる



はしかに罹った事があるか又はワクチンを2回接種しているか確認しておくことが大切

➤ はしか（麻しん）かなと思ったら

⇒受診

- 医療機関に電話等ではしかの疑いがあることを伝え、医療機関の指示に従う
- 医療機関への移動の際は公共交通機関の利用を可能な限り避ける（周囲への感染拡大予防）

ワクチンの接種については、かかりつけ医（クリニック等）にご相談ください（感染制御部/ICT）